

つよし
佐藤剛

議会通信

基幹病院特別号

2008. 1.24

発行責任者

南魚沼市議会議員 佐藤剛

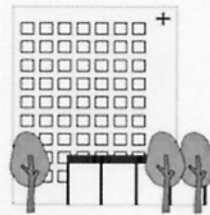
南魚沼市浦佐3874番地

TEL 777-3378

平成27年度開院めざす・・・基幹病院

新潟県は1月23日、魚沼地域に高度医療を提供するとともに地域の医療連携・支援を行う拠点として整備することを検討している魚沼基幹病院（仮称）について、以下の目標スケジュールを発表。

- | | |
|-----------|---|
| ◎平成20年2月 | 平成20年度当初予算提案
(基幹病院整備基本計画策定費) |
| ◎平成20年夏頃 | 病院機能・研究機能アドバイザーの確保
(病院長・研究所長候補の選定(複数)) |
| ◎平成20年度内 | 整備基本計画の策定
(診療機能や研究機能等の病院機能を明示) |
| ◎平成21年度 | 基本設計 |
| ◎平成22年度 | 実施設計 |
| ◎平成23年度 | 着工 |
| ◎平成27年6月頃 | 開院 |



県立六日町病院



県立小出病院



市立ゆきぐに大和病院



市立城内病院

課題も多い

基幹病院に関してはなかなか進展せず、1月17日南魚沼市、魚沼市、湯沢町の各議会から「早期促進」の要望書を県知事、県議会議長宛に提出したところでありました。

今回、ようやく目標スケジュールが示され現実的にはなってきましたが、具体的になればなったで不安な部分がないわけではない。

- ・開院はまだ先とはいえ、地方も都市部までも医師不足という中で、スケジュールに合わせて高度医療を支える医師確保は大丈夫か。
- ・基幹病院は高度医療、救急医療を担い、周辺の医療機関が1次医療中心に担うという「医療連携」が必要となるが、そういう医療再編はどう整備する。特に大和地域では「大和病院」が地域の医療を支えてきた部分が大きく、家庭医的な医療機関が少ない。
- ・したがって、大和病院の今後のあり方でこの地域の「地域医療」が大きく進展する可能性と同時に後退するかもしれないという不安もある。こうなると基幹病院の周辺医療をどう整備するかに、今後重心が移るか。



ホームページも見てください・・・役立つ情報満載、随時更新。

http://www.paw.hi-ho.ne.jp/go_sato/ 又は yahoo で南魚沼市議会議員 佐藤剛で検索